



株主通信

第212期 2019年4月1日～2020年3月31日

[証券コード:3106]

CONTENTS

株主の皆様へ	1
当社グループの事業概況	3
ESGに関する取組み	5
コーポレートサイトのお知らせ	6
財務情報	7
株式情報・会社情報	8
企業広告	9
株主メモ	巻末

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

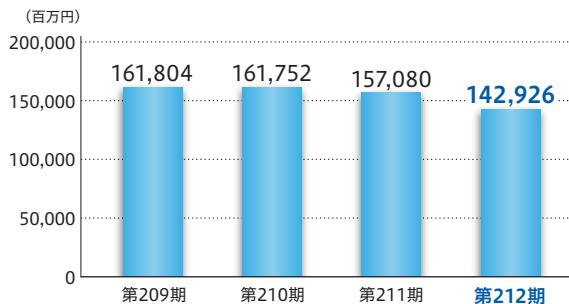
さて、当社グループの第212期連結会計年度(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、米中の貿易摩擦や日韓双方での輸出規制の強化、昨年10月の消費税率アップなどにより、景気の回復基調に鈍化が見られました。また、本年に入り新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が、経済活動の停滞、株価の暴落や原油価格の下落、為替の急激な変動などを引き起こし、景気の先行き不透明感が強まりました。

このような環境下にあって当社グループは、2019年4月よりスタートした中期経営計画「Creation'21」の基本方針である「イノベーションによる収益拡大と企業価値の向上」のもと、高付加価値・高収益ビジネスの拡大や、マーケット志向型事業への転換、新規事業創出などに注力しました。

連結業績ハイライト

売上高



営業利益



当連結会計年度の業績につきましては、売上高は1,429億円(前年同期比9.0%減)、営業利益は45億4千万円(同19.5%減)、経常利益は54億8千万円(同11.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は37億3千万円(同19.7%減)となりました。

今後のわが国の経済情勢につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大がいつ終息するのか、最終的にわが国を含めた世界経済にどれほどの影響を及ぼすのかなど、先行きは非常に不透明であります。当社グループでは、景気の悪化による受注減、衣料品、自動車業界等におけるサプライチェーンや物流の寸断による生産活動への影響、様々な自粛や制限に伴う国内外での販売、納品活動の停滞等の発生が想定されます。

このような状況に対応するため、新型コロナウイルスに関する対策指針を定め、当社グループの従業員やステークホルダーの皆様の安全・健康を最優先としてグループをあげて感染拡大の防止に取り組み、事業活動・生産活動

への影響を最小限に抑えるべく対応を行ってまいります。

また、当社グループは、中期経営計画「Creation'21」の基本方針に沿い、高付加価値・高収益ビジネスの拡大や、マーケット志向型事業への転換、新規事業創出などに引き続き注力し、「長期ビジョン2030」で目指すべき姿と定めた「イノベーションと高収益を生み出す強い企業グループ」の実現に努めてまいります。

さらに、引き続きコーポレートガバナンス体制の充実を図るとともに、企業倫理や法令遵守の徹底、SDGs(持続可能な開発目標)への取組みなどCSR活動を推進し、持続的な成長および中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

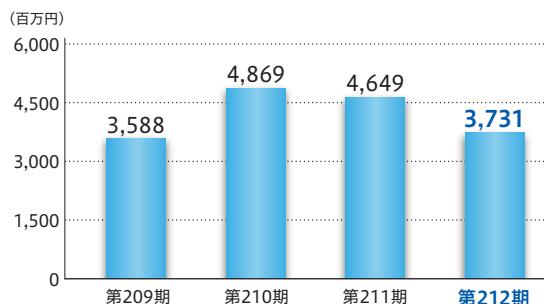
2020年6月

取締役社長 藤田 晴 哉

経常利益

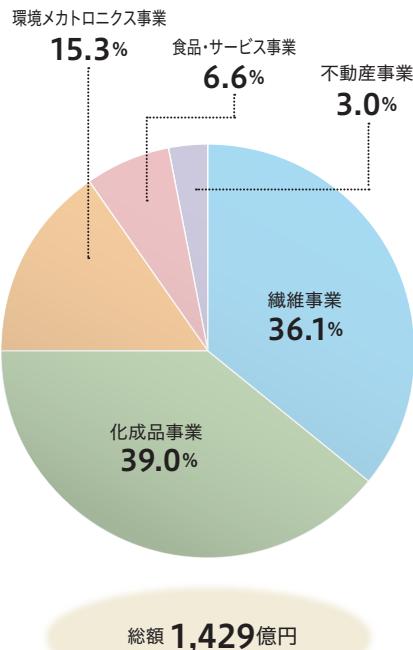


親会社株主に帰属する当期純利益



当社グループの事業概況

事業セグメント別売上高構成比率



繊維事業

ユニフォーム分野は、主力の建設業および製造業向けの受注が減少したことにより、減収となりました。

カジュアル分野は、国内衣料品販売の低迷、原糸分野は販売不振により、それぞれ減収となりました。

海外子会社は、タイヤ中国の受注が減少したことにより、減収となりました。この結果、売上高は515億円(前年同期比13.7%減)、営業損失は17億円(前年同期は営業損失9億5千万円)となりました。

なお、繊維事業では収益向上を目指し推進している構造改革の一環として、2020年3月31日をもって丸亀工場の操業を停止しました。

繊維事業

- 綿、合繊、その他素材の繊維製品(糸、織物、編物および二次製品)の製造・販売
- 綿、合繊織編物の染色整理加工



化成事業

自動車分野は、ブラジル子会社は業績が改善しましたが、国内や中国子会社における内装材向け軟質ウレタンフォームの販売が低調で、減収となりました。

機能樹脂分野は、市況低迷の影響を受けた半導体製造向け樹脂加工品や海外向けディスプレイ用フィルムが低調で、減収となりました。

住宅建材分野は、断熱材や外装用化粧材が低調で、減収となりました。

この結果、売上高は557億円(前年同期比8.8%減)、営業利益は9億7千万円(同50.2%減)となりました。

化成事業

- ポリウレタンフォーム、合成木材、無機建材、機能性フィルム、精密ろ過関連製品、高性能エンブラ製品、不織布および補強ネットの製造・加工・販売



環境メカトロニクス事業

エレクトロニクス分野は、膜厚計が順調に推移し、また子会社でも半導体洗浄関連装置の大型案件があり、増収となりました。

エンジニアリング分野は、プラント関係の工事などが順調で、増収となりました。バイオメディカル分野は、遺伝子受託解析サービスや細胞製品が堅調で、増収となりました。

工作機械分野は、設備投資の鈍化や米中の貿易摩擦の影響により国内販売および北米向け輸出が低調で、減収となりました。

この結果、売上高は218億円(前年同期比3.8%増)、営業利益は27億8千万円(同23.7%増)となりました。

環境メカトロニクス事業

- エレクトロニクス関連製品の製造・販売・保守
- 環境・エネルギー関連の各種プラント等の設計・製作・施工・販売、バイオマス発電事業
- バイオ関連製品の製造・販売
- 工作機械等の製造・販売



食品・サービス事業

食品分野は、シリアル向けフリーズドライフルーツや成型スープの販売が減少したことにより、減収となりました。

ホテル分野は、物販事業の一部撤退の影響もありましたが、宿泊棟のリニューアルや新宴会場オープンの効果により、増収となりました。なお、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、2月から宴会件数および宿泊者数が減少しました。

この結果、売上高は94億円(前年同期比11.4%減)、営業利益は6億2千万円(同35.1%減)となりました。

食品・サービス事業

- フリーズドライ食品の製造・販売
- ホテル、自動車教習所等の経営ほか



第211期 第212期

不動産事業

賃貸事業の推進に注力しましたが、一部物件の契約見直しなどもあり、売上高は43億円(前年同期比2.8%減)となりましたが、修繕維持費の低減などコストダウンにより、営業利益は30億円(同1.4%減)とほぼ前年同期並みとなりました。

不動産事業

- 不動産の賃貸

コーポレートサイトのご案内

>>> <https://www.kurabo.co.jp>

コーポレートサイトでは、会社案内やニュースリリースのほか、IR情報をお届けするため、「株主・投資家情報」を開設しています。

当社の開示資料を閲覧できる「IR資料室」、IR活動の日程をまとめた「IRカレンダー」など、株主の皆様のお役に立つ情報を提供しています。



ESGに関する取組み

ダイバーシティ&インクルージョンを推進

クラボウは、ダイバーシティ&インクルージョン(多様性と受容)(以下、D&I)を重要な経営戦略の一つと位置づけ、昨年9月からD&Iの推進に取り組んでいます。

D&Iの推進には、自身のアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)に気づき、向き合うことが不可欠と考え、全従業員を対象に、昨年11月、啓発冊子を配布しました。また、従業員一人一人が生き生きと活躍できる職場を作るため、役員・管理職および関係会社の幹部を対象に、本年2月、研修を実施しました。さらに、フレックスタイム制度を本年3月から導入。これにより、個々の事情に合わせた柔軟な働き方が可能となり、多様な人材の活躍推進、ワークライフバランスの実現、労働生産性の向上、時間外労働の削減を図ります。



啓発冊子



ペアワークで意見交換

研修シーン

社会貢献活動

クラボウグループは、清掃活動の参加人数10人ごとに100枚のクレンゼ(抗菌・抗ウイルス機能繊維加工技術)のタオルハンカチを保育園などへ寄贈する「10・100(テン・ハンドレッド)プロジェクト」を実施しています。昨年の参加累計人数は、739名となり7,300枚のタオルハンカチを保育園や幼稚園、高齢者施設に加え、大阪市、倉敷市などに寄贈しました。さらに、寄贈の際に一部の施設では紙芝居で手洗い方法などのレクチャーも実施し、幼児や高齢者などの安心・安全への支援を行いました。



タオルハンカチ



倉敷市に寄贈(中央が伊東倉敷市長)



手洗い方法のレクチャーシーン

Kurabo Corporate Website

2020.3.25. RENEWAL!!

コーポレートサイトをリニューアルしました



新サイトについて

様々なステークホルダーの皆様にはクラボウの情報を分かりやすくお伝えするため、コーポレートサイトを全面的にリニューアルしました。今回のリニューアルでは様々な端末からご利用しやすいマルチデバイス対応を実施し、クラボウグループの事業や理念、歴史等を紹介するコンテンツを拡充しています。新しく生まれ変わったコーポレートサイトを是非ご覧ください。

主な新コンテンツ



▲クラボウDNA

創業の精神や受け継がれてきたフィロソフィー、未来志向の企業姿勢を紹介



▲暮らしの中のクラボウ

身近な暮らしの中で使用されているクラボウ製品をわかりやすく紹介



▲クラボウヒストリー

創業から現在までの事業展開や社会貢献の歴史をエピソードと共に紹介

コーポレートサイト : <https://www.kurabo.co.jp>



財務情報

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)	科目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部			負債の部		
流動資産	82,156	77,483	流動負債	51,423	48,066
固定資産	94,195	88,058	固定負債	28,958	27,092
有形固定資産	52,128	52,320	負債合計	80,381	75,158
無形固定資産	985	1,233	純資産の部		
投資その他の資産	41,081	34,503	株主資本	90,107	90,689
資産合計	176,352	165,542	その他の包括利益累計額	2,391	△1,711
			非支配株主持分	3,470	1,405
			純資産合計	95,970	90,383
			負債純資産合計	176,352	165,542

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2018年4月1日~ 2019年3月31日)	当連結会計年度 (2019年4月1日~ 2020年3月31日)
売上高	157,080	142,926
売上原価	130,076	117,339
売上総利益	27,003	25,587
販売費及び一般管理費	21,363	21,045
営業利益	5,640	4,541
営業外収益	1,546	1,840
営業外費用	995	897
経常利益	6,190	5,485
特別利益	653	911
特別損失	20	1,011
税金等調整前当期純利益	6,823	5,385
法人税等	2,115	1,845
当期純利益	4,707	3,540
非支配株主に帰属する当期純利益 又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	57	△191
親会社株主に帰属する当期純利益	4,649	3,731

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2018年4月1日~ 2019年3月31日)	当連結会計年度 (2019年4月1日~ 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,225	8,064
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,708	△3,855
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,710	△4,678
現金及び現金同等物に係る換算差額	△164	29
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,358	△440
現金及び現金同等物の期首残高	20,423	19,169
連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額	—	△8
非連結子会社との合併に伴う現金 及び現金同等物の増加額	104	—
現金及び現金同等物の期末残高	19,169	18,720

株式情報・会社情報

当社の株式に関する事項 (2020年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 97,701千株
- 発行済株式の総数 22,356千株
- 株主数 15,938名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社三井住友銀行	1,018	4.92
株式会社みずほ銀行	1,018	4.92
日本生命保険相互会社	920	4.44
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	826	3.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	768	3.71
株式会社中国銀行	726	3.51
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	609	2.94
三井住友信託銀行株式会社	412	1.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	408	1.97
JP MORGAN CHASE BANK 385151	328	1.58

(注) ①当社は、自己株式1,665千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
②持株比率は自己株式を控除して計算しております。

当社グループの概要 (2020年3月31日現在)

当社

■創立 1888年3月9日 ■本店 岡山県倉敷市本町7番1号

■主要な事業所

区分	名称	所在地	
営業所 および 研究所	大阪本社	大阪市中央区	
	東京支社	東京都中央区	
	技術研究所	大阪府寝屋川市	
工場	繊維	安城工場	愛知県安城市
		徳島工場	徳島県阿南市
	化成品	寝屋川工場	大阪府寝屋川市
		裾野工場	静岡県裾野市
		群馬工場	群馬県伊勢崎市
		鴨方工場	岡山県浅口市
三重工場	三重県津市		
熊本事業所	熊本県菊池市		

(注) 2020年3月31日をもって丸亀工場の操業を停止しました。

当社グループの従業員の状況

従業員数(前連結会計年度末比増減)(人) 4,467(△64)

(注) 従業員数は就業人員であり、上記のほか、臨時社員・パートタイマー998人がおります。

当社の重要な子会社の状況

区分	会社名
国内	倉敷機械(株)
	日本ジフィー食品(株)
	(株)クラボウインターナショナル
	倉敷繊維加工(株)
	東名化成(株)
	シーダム(株)
海外	(株)倉敷アイビースクエア
	クラシキド・ブラジル・テキスタイル(有)
	タイ・クラボウ(株)
	(株)クラボウ・マングアル・テキスタイル
	広州倉敷化工製品有限公司
広州倉福塑料有限公司	

(注) 上記記載の重要な子会社12社を含め、当連結会計年度の連結子会社は25社、持分法適用会社は2社であります。

当社の取締役(2020年6月24日現在)

代表取締役 取締役社長	藤田 晴哉	取締役 執行役員	藤井 裕詞
代表取締役 常務執行役員	北 畠 篤	取締役 常勤監査等委員	岡田 治
代表取締役 常務執行役員	馬場 紀生	社外取締役 監査等委員	茂木 鉄平
取締役 常務執行役員	川野 憲志	社外取締役 監査等委員	新川 大祐
取締役 執行役員	本田 勝英	社外取締役 監査等委員	西村 元秀
取締役 執行役員	稲岡 進	社外取締役 監査等委員	谷澤 実佐子

(注) 社外取締役(監査等委員)茂木鉄平、新川大祐、西村元秀および谷澤実佐子の4氏は、いずれも当社が定める「社外取締役の独立性に関する基準」の要件を満たしており、また東京証券取引所有価証券上場規程第436条の2に定める独立役員であります。

当社の執行役員(2020年6月24日現在)

専務執行役員	佐野 高司	執行役員	中川 眞豪
常務執行役員	八木 克眞	執行役員	松井 一雄
常務執行役員	西澤 厚彦	執行役員	西垣 伸二
執行役員	相徳 朗人	執行役員	森重 潔夫
執行役員	平田 政弘	執行役員	黒澤 昭夫

面白いことやってやろう。 クラボウ

Tシャツの裁断くずが
ニットやバッグなどに

紙製品や
プラスチック製品にも
変身!

ジーンズの裁断くずから
新たなジーンズに

衣服の
裁断くず

糸に近づく
完成した糸

反毛機でほぐして
綿状の繊維に

裁断後の
生地
(裁断くず)

繊維事業部
テキスタイルイノベーションセンター 技術支援グループ
ゲン バンニャットユイ

詳しいエピソードを
特設WEBサイトで
公開中!



「裁断くずをアップサイクルするクラボウ人」篇

KURABO

memo

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日
 - (1)定時株主総会・期末配当金 毎年3月31日
 - (2)中間配当金 毎年9月30日
- 公告の方法
電子公告の方法により行います。
公告掲載URL <https://www.kurabo.co.jp>
※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777 (通話料無料)

【ご注意】

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。